

11月18日(金)現在

本県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等は  
国評価レベル 2 (警戒を強化すべきレベル)です

## 医療ひっ迫注意報発令中 / 感染再拡大警報発令中

新型コロナの1週間の新規感染者数は前の週と比べ、毎日1.2倍程度のペースで増加が続いています。県民の皆様にご感染対策等についてより一層注意喚起するため、「感染再拡大警報」を発令しています。

また、コロナ患者を受け入れる確保病床の利用率も40%前後まで上昇しています。医療機関のクラスターや医療従事者の感染等による休職により一部の病院では通常診療に支障が生じていることから、「医療ひっ迫注意報」も発令しています。

現在、この2年間流行のなかったインフルエンザの患者も増加しており、今冬は、新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念されます。感染及び重症化を予防するため、ワクチン接種が可能な方は、年内に、新型コロナとインフルエンザのワクチンの接種をお願いします。特に小児や高齢者、基礎疾患のある方は、積極的に接種の検討をお願いします。

また、体調不良時に備えて市販の解熱鎮痛剤、風邪薬、コロナ検査キットを家庭に常備することをお願いします。あわせて、自宅療養に備え食料品の備蓄もお願いします。

11月17日現在

入院患者数 A	病床数 B	病床利用率 A/B
236人	650床 <sup>※1</sup>	36.3%
	624床 <sup>※2</sup>	37.8%

※1 即応病床数(コロナ確保病床以外の病床数を含む)  
※2 コロナ確保病床数

直近1週間の10万人当たり 新規陽性者数
353.6人

### 県外への移動を検討されている皆様へ

全国旅行支援事業がはじまっていますが、全国的に感染者数が増加しています。

人との接触が多い感染リスクが上がる場所への外出や重症化リスクの高い人がいる場所への訪問、訪問先での感染リスクの高い行動には厳に注意し、不織布マスクの着用、手洗いや手指消毒、室内換気などの徹底をお願いします。

### 全国の直近1週間10万人当たり新規陽性者数(11月17日現在)

#### 【凡例】

感染状況(10万人当たり新規陽性者数)

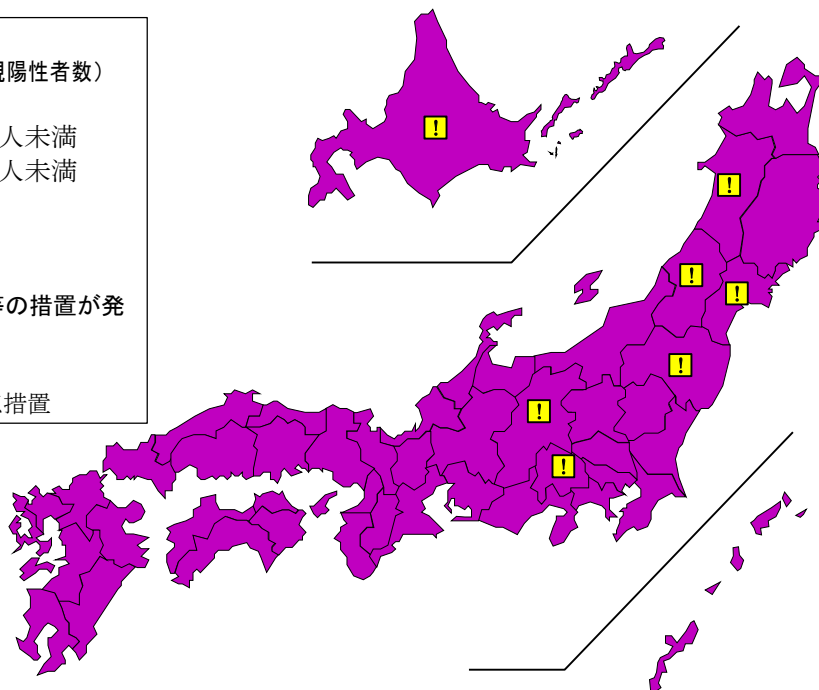
- 100人以上
- 35人以上～100人未満
- 7.5人以上～35人未満
- 7.5人未満

! 感染状況に注意

感染拡大により移動制限等の措置が発出されている地域

緊急事態宣言

まん延防止等重点措置



※ ! は、10万人当たり新規陽性者数が全国平均より1.5倍以上の都道府県

次回発表予定 令和4年11月25日(金)

※上記発表前でも必要に応じて随時発表する場合があります

# 県民・事業者の皆様へのお願い

## 県民の皆様へのお願い

### ○適切な受診

- ・基礎疾患がなく、ワクチンを接種されている60歳未満の方にとっては、自宅での安静と市販薬で自然に治る病気です。**事前に咳止め・解熱剤などの準備**をお願いします。
- ・救急医療が緊急に必要な人の診療が遅れないように、**夜間・休日は、軽いかぜ症状だけの場合は、受診を控え、平日の日中にかかりつけ医など地域の医療機関を受診**してください。(お子さんの症状が気になる場合は、必要に応じて、#8000(静岡こども救急電話相談)をご利用ください。)

### ○マスクの着用の徹底

- ・**飲食の際にはマスクを外しての会話は家族のみの場合とし**、それ以外の方とは食べる時は会話をせず、会話する時は、必ず不織布マスクを着用するようお願いします。
- ・特に多人数、長時間の会話では、お互いに**不織布マスクの着用を徹底**してください。こまめな換気を行わない場合には、BA.5の感染力の強さから感染リスクが高まります。
- ・**「屋外では、まわりに人がいなければマスクは不要」、「就学前の子どもは、マスクは原則不要」**です。適切なマスクの着脱ができるよう、**常時、マスクの携行**をお願いします。

### ○オミクロン株対応2価ワクチンの接種

- ・現在実施中の**オミクロン株対応2価ワクチンの接種**は、オミクロン株に対し、**従来型ワクチンを上回る重症化予防効果**とともに、**感染予防効果や発症予防効果**も期待されています。
- ・この2年間、年末年始に感染が流行しています。接種券が届き次第、**年内のできるだけ早い時期に接種することをご検討ください**。
- ・なお、県の**大規模接種会場(もくせい会館等)**でも、**2価ワクチンの接種を実施**していますので、ぜひご利用ください。

県の大規模接種会場の  
情報はこちら



## 事業者の皆様等へのお願い

### ○事業所における取組

- ・事業者の皆様は、職場や店舗等における基本的な感染防止対策の徹底、特に**換気の励行、「居場所の切り替わり」での感染防止対策**や、在宅勤務、時差通勤など、人との接触を低減する取組など、感染防止対策を継続してください。
- ・医療機関のひっ迫を回避するために、従業員が発熱等で休暇を取得する際に、新型コロナ又はインフルエンザの**検査結果を証明する書類や診断書を求めないでください**。また、従業員が職場復帰する際に**検査の陰性証明や治癒証明を求めないようお願いします**。

### ○学校等における取組

- ・学校や保育所等では、マスクの着用、こまめな換気など基本的な感染防止対策の徹底、感染リスクの高い行動の回避に努めてください。
- ・職員や児童・生徒等に何らかの風邪症状がある場合については、部活動や課外活動も休み、市販薬(咳どめ・解熱剤等)を服薬するなど、自宅で静養してください。

### ○福祉施設等での取組

- ・福祉施設等の事業者の皆様は、県から配布された抗原定性簡易キットを活用して週に2度の定期検査を行い、陽性者の早期発見に御協力願います。

### ○催物(イベント)における留意事項

- ・催物(イベント)の主催者の皆様は、3密の回避など基本的な感染防止対策の徹底とともに、参加者の把握に努めてください。
- ・参加人員5,000人超かつ収容率50%超のイベントを開催する場合は、県に具体的な感染防止策を記載した「感染防止安全計画」を提出してください。
- ・**イベントにおいて、会話の場面や密集する場面では、参加者にマスクの着用を徹底してください**。

# マスクは常に携帯しましょう！ 場合別マスク着用の参考表

周囲の人の状況 屋内/屋外	自分1人のみ	同居人のみ	同居人以外の人々 (事例の赤字は国通知の事例)			
			2 m以上離れている		2 m以内にいる	
			ほとんど 会話無し	会話・発声 あり	ほとんど 会話無し	会話・発声 あり
<b>屋内</b> ※1	不要 例) 1人で部屋で過ごす	不要 例) 家族で居間で団らん	不要 例) 図書館で席を離れて座り自習	推奨※2 例) 離れた席でおしゃべり	推奨 例) 通勤電車・バスの中	推奨 例) 狭い会議室での会議、カラオケ、麻雀
<b>屋外</b>	不要 例) 1人で散歩や自転車	不要 例) 家族でハイキング	不要 例) 静かにランニング・サイクリング・釣り	不要 例) 密にならない外遊び・テニス	不要 例) 徒歩通勤、静かな行列、野外観劇	推奨 例) 繁華街・観光地の人混み、友人とBBQ、球技観戦

\* 就学前の子どもは、マスクは原則不要



\* 高齢者や基礎疾患のある人、またはそのような方と接する人は、マスク着用を推奨



\* マスク着用なしで咳やくしゃみをする際は、口鼻をハンカチやそででおおう  
(咳エチケット)

※1 ; 車内(電車、バス、自家用車等)を含む

※2 ; 十分な換気等の感染対策をしている場合はマスクを外すことも可



マスクは いつも かばんに 入れる! マスクを  つける つけない 

まわりのひと いえ・のりもの または そと	じぶんだけ	かぞくだけ	かぞくではないひとたち			
			2めーとるよりも とおい		ふとん 2めーとる ↑ 2めーとるよりも ちかい	
			しゃべらない	しゃべる	しゃべらない	しゃべる
たてものや のりもの なか 	 へやに いる	 かぞくで てれび	 とおくに はなれて しずかに どくしょ	 ※ とおくに はなれて しゃべる	 ひとが おおい でんしゃ、ばす	 せまい へやで、 しゃべる、うたう
たてものの そと 	 さんぽ	 かぞくで さんぽ	 らんにんぐ、 じてんしゃ、むしとり	 おにごっこ、 どっじぼーる	 あるいて がっこう へ いくとき	 ひとが たくさん いる ところ

- \* しょうがっこうに はいる まえの こどもは、マスクは いらぬい (したい こどもは してよい)
- \* おとしよりや びょうきの ひと、その ひとに あうとき、びょういんに いくときは、マスクを する
- \* マスクなしで せきや くしゃみを する ときは、くち はなを はんかちや ふくで おさえる
- ※ かぜが おおく はいる へやでは、マスクを はずしても よい

# 新型コロナウイルスの感染状況や医療のひっ迫状況等を評価する国のレベル分類及び本県の対応【オミクロン株版】

(令和4年7月12日から運用)

国 評価 レベル	指標		求められる対策	国評価レベルに応じた県の主な対応(注1)			
	1週間 新規感染者数	病床 占有率等		外出・移動	飲食店	イベント	事業所
4 避けたい レベル	—	最大確保病床数 を超過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業所等に最大限の行動抑制等を要請</li> <li>・県及び医療現場の判断で一般医療の制限</li> </ul>	県内全域に、レベル3よりも強い活動の自粛や制限等を要請			
3 対策を 強化すべき レベル	—	現状で病床占有率 や重症病床占有率 50%超	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民等へ強い呼びかけ、まん延防止等重点措置や緊急事態措置等、各地域に必要な対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベル2での対応に加え、県内・県外の感染リスクが高い場所への外出、他県への不要不急の移動自粛(注2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベル2での対応に加え、営業時間の短縮や休業、酒類提供等の自粛(注2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベル2での対応に加え、開催規模(参加人数や収容率)の制限(注2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種別ガイドラインの遵守</li> <li>・出勤者の削減等を強力に推進</li> <li>・施設の入場者整理等</li> </ul>
2 警戒を 強化すべき レベル	※①かつ②～④のいずれか  (状況) ①2週連続増加  (10万人当たり) ②100人以上	(病床占有率) ③20%以上 で上昇傾向  (入院患者数) ④100人以上 で増加傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染リスクの高い行動の回避</li> <li>・感染拡大防止に必要な対策の実施</li> <li>・保健所の体制強化、必要病床の段階的確保</li> </ul>	基本的な感染防止対策の強化・徹底(感染状況や医療ひっ迫状況により必要に応じて行動制限等を要請)			
1 維持すべき レベル	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な感染防止対策の継続</li> <li>・ワクチン接種の推進</li> <li>・医療体制の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベル1での対応に加え、感染リスクが高い行動に対する注意喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベル1での対応に加え、こまめな換気や密の回避等感染防止対策の一層の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベル1での対応に加え、感染防止対策の一層の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種別ガイドラインの遵守</li> <li>・人の接触低減の取組実施の徹底</li> </ul>
0 感染者 0 レベル	—	—	同上	同上	同上	同上	同上

(注1) 実際の対応は、感染状況や医療のひっ迫状況等を踏まえ、必要なものを実施する

(注2) 認証店や対象者全員検査の場合は要件を緩和する場合がある(より強い措置が必要な場合は緩和しない)